

た か は ぎ

2025.5
No.183

議会だより



令和7年第1回定例会

会期 2月28日～3月18日
議案に対する質疑・討論…… 4
委員会審査報告…………… 6
市政に対する一般質問……… 8

高萩市議会
ホームページ



議場モニターを活用した 本会議一般質問

議会報告会

日時：令和7年5月10日(土) 14:00～
場所：高萩市総合福祉センター2階
研修室1

令和7年第1回定例会に提出された議案等

事件 番号	件 名	内 容	審議結果
報 告 第 1 号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度高萩市一般会計補正予算（第6号））	歳入歳出予算に123,275千円を追加するもの。住民税非課税世帯物価等高騰対策支援経費等。	原案承認 (全員賛成)
報 告 第 2 号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	市道上に落ちていた金属鋸が走行中の車のタイヤに刺さり損害を与えたもの。	—
議 案 第 1 号	高萩市監査委員の選任について	市毛 優氏が任期満了となるため、再任について、議会の同意を求めるもの。	原案同意 (全員賛成)
議 案 第 2 号	高萩市教育委員会の委員の任命について	鷲 真由美氏が任期満了となるため、再任について、議会の同意を求めるもの。	原案同意 (全員賛成)
議 案 第 3 号	高萩市公平委員会の委員の選任について	小島 英比古氏が任期満了となるため、再任について、議会の同意を求めるもの。	原案同意 (全員賛成)
議 案 第 4 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	小野 美香子氏の推薦について、議会の意見を求めるもの。	原案同意 (全員賛成)
議 案 第 5 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	落合 武氏の推薦について、議会の意見を求めるもの。	原案同意 (全員賛成)
議 案 第 6 号	令和6年度高萩市一般会計補正予算（第7号）	歳入歳出予算に、387,893千円を追加するもの。財政事務経費の増等。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 7 号	令和6年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出予算に、7,637千円を追加するもの。支払準備基金積立金の増等。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 8 号	令和6年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出予算に、2,411千円を追加するもの。認定調査費の増等。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 9 号	令和6年度高萩市水道事業会計補正予算（第2号）	収益的支出を146万2千円、資本的支出を1億1280万円増額するもの。配水管布設替工事等。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 10 号	令和6年度高萩市工業用水道事業会計補正予算（第2号）	収益的支出を83万1千円増額するもの。人事院勧告に伴う人件費の増。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 11 号	高萩市集会所設置及び管理に関する条例の一部を改正する等の条例の制定について	生活改善センターを集会所として利用することに伴い改正を行うもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 12 号	高萩市印鑑条例及び高萩市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機により証明書等の交付を開始することに伴い改正を行うもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 13 号	高萩市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に伴う増及び市長、副市長、教育長の給与の削減期間を延長するもの。	原案可決 (賛成多数)
議 案 第 14 号	高萩市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	栄養士法が改正され、管理栄養士の要件が緩和されたことから家庭的保育事業等の運営に関する要件として栄養士の配置を求めている規定について改正を行うもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 15 号	高萩市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	茨城県の医療福祉対策実施要領等の改正に伴い、医療福祉費支給制度における妊産婦等の所得制限に係る政令の引用規定を改めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議 案 第 16 号	高萩市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正について	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、条項の整理を行うもの。	原案可決 (全員賛成)

令和7年第1回定例会に提出された議案等

第1回定例会

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第17号	高萩市建築基準条例の一部改正について	脱炭素社会の実現に資するための建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、改正を行うもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第18号	高萩市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について	消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、非常勤消防団員の処遇改善を図るため、規定の見直しを行うもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第19号	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会を組織する構成団体の数の増加及び茨城消防救急無線・指令センター運営協議会規約の変更について	茨城消防救急無線・指令センター運営協議会を組織する構成団体の数の増加及び規約の変更について、構成団体と協議するため議決を求めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第20号	高萩市と北茨城市の路線が重複する部分の道路の管理の方法に関する協議について	市道212号線と北茨城市道が重複する部分の道路の管理の方法について、北茨城市と協議するため議決を求めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第21号	令和7年度高萩市一般会計予算	令和7年度当初予算127億円を定めるもの。	原案可決 (賛成多数)
議案第22号	令和7年度高萩市国民健康保険事業特別会計予算	令和7年度当初予算28億4,300万円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第23号	令和7年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計予算	令和7年度当初予算5億1,300万円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第24号	令和7年度高萩市介護保険事業特別会計予算	令和7年度当初予算28億210万円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第25号	令和7年度高萩市霊園事業特別会計予算	令和7年度当初予算2,180万円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第26号	令和7年度高萩市水道事業会計予算	令和7年度当初予算9億7692万円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第27号	令和7年度高萩市工業用水道事業会計予算	令和7年度当初予算3億4,488万8千円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第28号	高萩市議会委員会条例の一部改正について	地方自治法の一部改正に伴い、地方議会に係る手続のオンライン化が可能となったため必要な事項を定める等の改正を行うもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第29号	高萩市議会会議規則の一部改正について	地方自治法の一部改正に伴い、地方議会に係る手続のオンライン化が可能となったため必要な事項を定める等の改正を行うもの。	原案可決 (全員賛成)

議員賛否一覧（議案等に対して賛否の分かれたものを掲載）
○＝賛成（採択） ●＝反対（不採択）

議員名 (議席順)	大平望	畠山結樹	高久聡至	藤橋隼	坪和久男	渡辺悦夫	我妻康伸	八木陽子	大森要二	田所和雄	菊地正芳	吉川道隆	今川敏宏	寺岡七郎	結果
事件番号															
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	※	原案可決
議案第21号	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	●	●	●	※	

※議長は可否同数の場合を除き、採決に加わりません。

議案質疑

議案第6号 令和6年度高萩市一般会計補正予算(第7号)

藤橋 隼 議員

質問 アセットマネジメント経費について、年度内に支出できない経費とその理由、さらに計画策定の進捗状況および今後の見通しについて

企画総務部長 年度内に支出できない経費は委員報酬など計662万8千円です。義務教育学校施設整備基本構想の答申が3月となるため、それに合わせての策定が必要となり、年度内の完了が困難となりました。学校施設以外の分は概ね整っており、今後、学校施設分を調整し、6月末の策定を予定しています。

質問 中心市街地活性化推進経費について、年度内に支出できない経費とその理由、さらに計画策定の進捗状況および今後の見通しについて



企画総務部長 年度内に支出できない経費は基本構想策定支援委託料715万円です。駅前再整備に関し、地権者やJRなど関係機関との調整に時間を要し、一定の了解を得る必要がある為です。現在、市民アンケート等を通じて素案を作成中で、4月以降に調整を行い、6月末の策定を目指します。

田所 和雄 議員

質問 財政調整基金繰入金2億5千万円の減額の理由と減額後の基金の残高を伺う。

企画総務部長 財政調整基金は年度間の財源不均衡の調整や災害等への対応等で財源不足を生じたときの対応のため設置しています。当初予算で繰入金3億8千万円計上しましたが、行財政健全化に努め減額が可能になったため、9月に1億3千万円を減額補正し、今回の2億5千万円の減額補正で繰入は皆減となりました。令和6年度中の基金積み立てがあり、令和6年度末の残高は、約10億4千万円で前年度から約1億3300万円増と見込んでいます。



質問 減債基金繰入金5千万円の減額の理由と減額後の基金の残高について伺う。

企画総務部長 財政運営の調整により5千万円を減額し、皆減となりました。令和6年度中の基金積み立てがあり、令和6年度末の残高見込み額は、7億2350万円、約4860万円の増と見込んでいます。

議案第9号 令和6年度高萩市水道事業会計補正予算(第2号)

坪和 久男 議員

質問 建設改良費1億1280万円の補正理由について伺いします。

産業建設部長 国土交通省において、令和6年能登半島地震を教訓に水道施設等の耐震化等を加速化させるための予算を確保し、全国の水道事業体に対し令和7年度当初予算の前倒し事業として取り組むよう依頼がありました。本事業は更新計画に基づき、令和5年度より整備を進めてまいりました大字島名秋山地区の配水管布設替え工事であり、配水本管の耐震化を推進するため補正するものです。



質問 工事の内容について伺いたします。

産業建設部長 工事箇所につきましては、大字秋山地区内の荒屋バス停交差点から北西に向かう市道1498号線であり、本工事は老朽化した配水本管の布設替え工事を実施するものであり、管種につきましては口径350ミリメートルの耐震性ダクタイル鋳鉄管で、区間延長は350メートルであります。



※1…14 ページの用語解説をご参照ください。

討論

議案第21号 令和7年度高萩市
一般会計予算

反対討論 畠山 結樹 議員

反対の理由としては、
1. 令和7年度一般会計予算
127億円のうち、高浜スポーツ
広場人工芝整備事業にかかる工事
請負費2億6285万円に対して
全体の計画及び費用が不明な点
2. 利用者、地域住民への説明が
不十分な点
3. 目的を達成するための具体的
な目標値や実施後の検証軸が不明
な点
を問題視してきました。集約
化に伴う全体予算費用は高浜
スポーツ広場人工芝整備費用
2億6285万円、他に示された
駐車場周回園路、既存照明撤去
費用3億3467万円と、サンス
ポーツランド高萩の整備費用（概
算もなく不明）ランニングコスト
年間280万円、利用申し込みシ
ステム料金（概算もなく不明）が
事業全体の費用であり、この内訳
が見えていない（実施後に検討し
ていくとの回答が含まれている）
為、中長期の計画などの必要性を
感じています。

反対討論 高久 聡至 議員

高浜スポーツ広場グラウンド整
備事業について、令和6年第2回
定例会での質疑に対し、「実施設
計が終わってからでない」とと答
弁があつたが、設計後も議会への
説明はありません。令和10年開校
予定の義務教育学校の建設費用に
約70億円掛かる予定であり、学校
施設建設基金が約6億円しかない
現状の中で、助成金や有利な起債、
特定財源が利用できるとは言え、
グラウンド整備事業に（駐車場整
備も含む）約6億円かける事業が
本当に今の高萩市に必要な事業な
のか。本来、このような大規模な
整備については、関係する全ての
スポーツ団体や市民の意見を十分
に聞き、公平な議論を経た上で進
めるべきです。しかし、今回の計
画では、野球少年団をはじめとし
る関係者の意見が十分に反映され
ておらず、市全体としての合意形
成が不十分であると言わざるを得
ません。このような形で整備を進
めていくことには賛同することは
出来ません。

反対討論 八木 陽子 議員

私は、サッカー場の建設に必
ずしも反対ではありませんが疑問
に感じています。今は令和10年に
開校予定の学校建設の問題があり
ます。約70億円の学校建設に対す
る財源の見通しのない中で、約
6億円を超えるサッカー場がな
ぜ優先されるのか理解できません
。今回の予算には人工芝化事
業費と照明灯設備費を合わせた
2億6285万円しか入っていま
せん。駐車場、周回園路、既設照
明灯の撤去費用等は組み込まれて
いないのです。残りの工事費はど
のように工面するかも聞いており
ません。また、高萩市義務教育学
校施設基本構想・基本計画案の目
的、検討の中でも「津波浸水想定
区域内の立地を解消するために、
新たに児童生徒の学びの場として
安全安心で良好の環境を」と言っ
ております。災害が起きた時に避
難しなければならぬ地域で公共
施設をつくるには大いに問題があ
り矛盾しています。高浜グラウンド
は砂埃がおきる地域で人工芝の管
理費も必要以上に掛かってきま
す。

反対討論 今川 敏宏 議員

ただひとつ、納得できなかった
予算が、高浜スポーツ広場グラウ
ンド整備事業2億6285万円、
いわゆるグラウンド人工芝整備工
事の予算です。
新規事業は、議会に対して、事
業計画から納得されるように説明
を尽くされるべきであり、その中
で計画を見直し調整をしていき、
これで行けると確信されて初めて
予算案として提案するものではな
いでしょうか。
グラウンドの設計説明も無く、
財源説明も無いまま、新年度予算
の中に提案するのは、行政として
疑問を生じさせます。
行政事業は、行政評価が必要で
あり、今では当たり前のPDCA
サイクルによって事業を昇華させ
ていくのが必然だと思います。人
工芝整備が必要と考えるなら、説
明を尽くし、納得されるようにす
るべき事業と考えます。
本当に残念であり、反対せざる
おえません。

委員会審査報告

総務産業委員会

3月10日、当委員会に付託された議案10件、陳情1件の審査を行った。

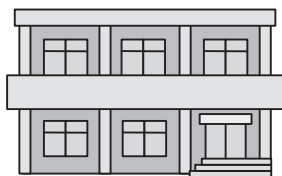
○議案第11号 高萩市集会所設置及び管理に関する条例の一部を改正する等の条例の制定について

問 統合する目的について伺う。

答 限られた財源の中で適切な老朽化対策を講じるため、公共施設の整備や管理をより一層効率的に行い、機能の集約化・複合化を推進していく必要がある。時代背景に併せて地域住民の親睦等のための集会所機能が、主な機能という点で類似している集会所、公民館、生活改善センターを一元管理し、集約化していくことで効率化を図る。

問 集会所に一本化することで競合してスケジュールの調整が難しくなるのでは。

答 施設数そのものに変更はないので、施設の競合という点については、4月以降はないものと考えている。



○議案第20号 高萩市と北茨城市の路線が重複する部分の道路の管理の方法に関する協議について

問 管理費用の見通しについて伺う。

答 他自治体の協定内容を参考に、2市の道路管理担当で協議する。

問 管理に伴う収入について伺う。

答 歩道を含む道路の範囲内に一定の工作物や施設を設け、道路を部分的に占拠して継続的に使用することを占用と言いますが、重複する部分に占用の工作物が設置された場合に、その占用に係る費用が収入として見込まれる。一例といたしましては、電柱や電話ボックス、看板などがある。



文教厚生委員会

3月7日、当委員会に付託された報告1件議案6件の審査を行った。

○報告第1号 令和6年度高萩市一般会計補正予算(第6号)について

問 非課税世帯に対する支給案内書のスケジュールを伺う。

答 1回目の口座振込みは、3月28日の予定です。転入世帯は4月25日を予定しています。

問 民生費、生活保護費の医療保険費が増額補正されている理由と内容を伺う。

答 高額治療の要する被保護者が3名生じたことによるもので、入院費が68万8千円不足と調剤費が36万5千円増えたことによるもの。

○議案第6号 令和6年度高萩市一般会計補正予算(第7号)について

問 教育費で学校施設建設基金1億円を積んでいる理由を伺う。

答 学校建設及び周辺環境整備の円滑な財政運営を図るため積立てるもの。今年度分1億円を含めて6億1970万円と見込んでい

る。

○議案第12号 高萩市印鑑条例及び高萩市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

問 コンビニエンスストアで印鑑証明と住民票は取れるが、戸籍関係の証明書は取れない理由を伺う。

答 経費がさらに必要となるためと、現在は戸籍の広域交付が開始されて、どの自治体でも取得できるため。

問 日立市はコンビニと同じ多機能端末機を窓口で利用できるが、高萩市はどうか。

答 コンビニ交付サービスのシステムを使用するため地方公共団体情報システム機構と委託契約しなければならず、コンビニ交付事業を実施しなければ、市役所窓口を設置し、利用することはできない。



委員会審査報告

予算特別委員会

3月11日、12日、13日、当委員会に付託された議案7件の審査を行った。また、高浜スポーツ広場グラウンド整備事業2億6285万円を減額する令和7年度一般会計予算の修正案が発表され審査を行った。修正案に対する表決の結果は、可否同数となり委員長裁決により否決となった。

○令和7年度高浜市一般会計予算
〔総務産業委員会所管分〕

問 旧中央公民館解体工事請負費について伺います。

答 旧中央公民館の解体については、公共施設等適正管理推進事業債を活用し、充当率90%で、土地価格相当額を控除した額の50%が交付税措置されます。

問 アセットマネジメント経費に関して委員会のメンバー及び審議内容について伺います。

答 高浜市公共施設管理計画策定委員会については、公共団体が推薦する者、市議会の議員、学識経験者、市職員、その他市長が認めるものとして10名構成で委員会を組織しており、6月末を目途に、高浜市公共施設等管理計画と個別施設計画を策定し、その進捗状況について審議していただく予定です。

問 森林経営管理経費委託料1543万3千円のうち主な委託料について伺います。

答 1点目、身近なみどり整備推進事業委託料300万円、通学路や住宅地周辺等の平地林や里山林の間伐など森林整備を委託するものです。2点目、森林所有者意向調査等委託料500万円、森林所有者から経営に関する意向調査をするものです。3点目、間伐等森林整備事業委託料500万円、森林所有者意向調査の結果、森林所有者が経営管理できない民有林について間伐など森林整備を市が業者に委託するものです。

問 観光事務経費に海水浴場の運営委託とありますが昨年と同じイベントをするのか又海水浴場利用者の駐車場問題について伺います。

答 観光協会、民間事業者と調整の上、昨年同様のアスレチックの導入ができればと調整を進めています。駐車場についても協議を進めているところです。

問 秋山菖蒲橋撤去、道路改良測量設計業務委託料の事業内容について伺います。

答 平成28年の橋梁点検において、橋の損傷があり安全確保のため通行止めとしております。令和5年度に説明会を開き、橋梁の撤去やむなしとのご意見をいただき、撤去する事としております。

業務内容は、橋梁撤去設計、測量業務及び代替道路詳細設計、延長300メートル、地質調査等です。

問 都市計画事務経費の中の都市計画マスタープランについて、報償費と委託料、マスタープランの内容について伺います。

答 前回平成18年度の策定からおおむね20年を迎え、都市を取り巻く状況も大きく変化していることから持続可能なまちづくりをさらに進めていくため改定するものです。併せてバリアフリーマスタープランも策定します。委員報償費は、学識経験者への謝礼金です。

〔文教厚生委員会所管分〕

問 証明書のコンビニ交付について、なぜ、今のタイミングで実施なのか伺います。

答 本市のマイナンバーカードの交付率が90%を超えてきたことや、近隣市のコンビニ交付の利用率が年々高くなってきたことと、本市のDX化の必要性、また、コンビニ交付導入経費に対する国の特別交付税措置が7年度が最終年度であること、そして市民の利便性などを総合的に判断し導入することとしました。

問 高浜スポーツ広場のグラウンド整備事業2億6285万円について、石渥サッカー場の人工芝整備工事請負費8971万円より2億円弱高くなった理由を伺います。

答 資材価格の高騰や賃金上昇等による工事価格の高騰のほか、人工芝整備の工法の違いがあります。高浜スポーツ広場は海岸部に位置しており地盤が砂地のため、開粒度アスコン下地を採用し、砕石の上に透水性が確保されているアスファルトコンクリート舗装を施工する予定です。そのため、グラウンド人工芝化事業の予算額は、1億9635万円となっています。

問 高浜スポーツ広場グラウンド整備事業の起債の要件について伺います。

答 予算額2億6285万円に対し、公共施設等適正管理推進事業債1億7530万円を見込んでおり、この事業債は充当率90%、交付税措置率50%となっています。

問 学校給食費の中学生の無償化をやりますが、学校給食費支援の拡充の内容について伺います。

答 子育て世帯の負担軽減分として6456万円を市で負担します。賄い材料費1億1249万円から学校給食費徴収金4793万円を引いた差額です。6456万円の内訳は、物価高騰支援として1949万円、第2子半額、第3子以降無償化の子育て応援給食費助成が950万円、中学生の学校給食費無償化として3557万円です。



渡辺悦夫
議員



たかはぎFMの閉局について

質問 たかはぎFMの閉局に伴う主な理由について伺います。

企画総務部長 たかはぎFMの閉局につきましては、令和7年1月18日にNPO法人たかはぎFMが開催した臨時総会において、総会出席者全員の賛成をもって、令和7年3月31日の閉局を決定したとのことです。閉局の主な理由につきましては、スポンサー会費やCM料、放送委託料の減少及び物価高騰等による放送経費の増加や放送機材の整備など、法人運営の継続が困難であると伺っております。

質問 たかはぎFMの閉局に伴う災害・防災情報伝達等の今後の影響について伺います。

市民生活部長 近年の情報通信技術の発展により、災害時の住民への情報伝達手段は多様化しており、より効率的に情報を伝達することができるとアラートを活用した緊急速報メール、テレビへのデータ放送があります。現時点において、影響は少ないものと考えております。



質問 閉局後のFM機材及び使用している場所の取扱いについて伺います。

企画総務部長 FM機材等につきましては、平成25年4月1日付でNPO法人たかはぎFMと使用貸借契約を締結し、これまで無償貸与してきました。閉局に伴い、市に返還していただきます。また、使用していた場所につきましては、防音効果等も優れた部屋でありますので、返還していただいた後は市民の皆様が有効に活用できるように、検討して参りたいと考えております。



田所和雄
議員



都市計画道路3・5・9号安良川赤浜線の進捗状況について

質問 市道1661号線から北方面の進捗状況について伺う。

産業建設部長 下手綱地内の市道1661号線（たつご通り）から北茨城市までの区間延長2260メートルについては、現在は高萩清松高校西側の切土工事を進めており、今後市道の切り直し工事等、段階的に工事を進めていく必要があるため、供用開始時期については明確な状況でないとい県から説明を受けています。

高萩市の財政について

質問 平成20年から直近の令和6年3月31日まで16年間に、5つの時点での借入金残高を伺う。

企画総務部長 平成20年が339億円、平成26年が267億円、平成30年が223億円、令和4年が194億円、令和6年が181億円となっており、16年間で157億円減少しています。



高萩清松高校付近あかはま赤水橋から北方面を望む

質問 2つの事業と住宅公社の破産に関わる市債の返済計画について伺う。

企画総務部長 本庁舎建設事業は、未償還元金が6億9100万5千円で、今後年間で約3500万円の償還が続き令和30年3月末に終わります。高萩認定こども園建設事業は、未償還元金が6億3173万6千円で、年間約4300万円の償還が令和24年3月末に終わります。第三セクター等改革推進債は、未償還元金が10億2258万5千円で、年間約1億9千万円の償還が令和12年9月30日に終わります。



大平 望
議員



※²アントレプレナーシップについて

質問 アントレプレナーシップの醸成について伺う。

教育部長 学校における教育活動全体の質を高めることで、アントレプレナーシップ教育を通して育成されるであろう課題発見力、創造力、行動力、コミュニケーション能力、協調性等を育成する。

質問 民間企業との連携について伺う。

企画総務部長 アントレプレナーシップ推進については、地域経済の活性化、新たな雇用の創出、さらには社会課題の解決に資する重要な施策の一つと認識している。特に、民間事業者との連携は、実践的な知見の共有や支援体制の充実を図る上で欠かせない要素であると考えている。教育分野においても、カリキュラムの一つとして導入している大学も多く、さらに高等学校においても生徒に地域課題解決を導くため自ら考え実践することを目的とした探究学習などが導入されている。

本市においても、創業支援など新たな価値の創造につながる事業

にも取り組んでいるが、アントレプレナーシップの推進においてチャレンジ精神などを養う人材育成の観点からのアプローチは、これらの事業を効果的に進める上でも有効である。

質問 市長の考えを伺う。

市長 アントレプレナーシップの導入は、地域資源の活用や新たなビジネスの創出にとどまらず、柔軟で創造的な課題解決を可能にして、市民主役のまちづくりをさらに推進するものと考えている。今後多様な課題を踏まえながら推進したい。



我妻 康伸
議員



市政運営について

質問 市長として2期7年が経過した。特に思い入れの強いこれまでの施策を教えてください。

市長 どの施策も重要であるため、特に思い入れの強い施策を1つに絞ることは容易ではありませんが、長年の課題であったごみ処理施設の整備、赤浜地区工業団地TK・2・2区画への企業誘致、子育て環境改善のための認定こども園の整備、さらには交流人口拡大につながる山間地域の観光周遊道路の整備や呼び出し型乗合バス「MY Rideのるる」の導入などによる公共交通対策の強化など、市民生活の向上につながる施策は大きな成果として挙げられるものと考えております。

水道事業について

質問 有機フッ素化合物PFASの浄水場における測定について伺う。

産業建設部長 令和2年度より年2回、有機フッ素化合物PFASの検査を実施しております。国の暫定目標値は水1リットル当たり

50ナノグラムであり、基準値を超えたものは現在まで検出されておられません。

質問 河川、地下水のPFAS測定について伺う。

市民生活部長 県の調査において、高萩市内は令和5年度調査で関根川と関根前川の2か所が調査対象となり、調査結果につきましては、いずれも暫定基準値内でありました。地下水については、現在のところ調査対象とはなっていないと考えています。



赤浜地区工業団地TK・2・2区画

※2・※3…14 ページの用語解説をご参照ください。



大森要二
議員



防犯灯の管理について

質問 前回の議会で、防犯灯の市による一元管理と太陽光発電防犯灯の導入を要望したことに對し市民から「常会の解散が相次ぎ防犯灯の維持管理が困難だ」という意見が寄せられた。執行部は防犯灯管理組合の設立事例を紹介したが、新たに設立された組合数はいくつあるか伺う。

企画総務部長 令和7年2月末現在で16団体である。

質問 職員が直接関与し、防犯灯管理組合の設立を支援した事例について伺う。

企画総務部長 職員が直接設立を支援した事例はありません。

質問 市の働きかけがなければ、防犯灯管理組合の設立が進むことは難しいのではないのか。常会解散後、余剰金で防犯灯を維持している地域もある。資金が尽きれば点灯できなくなる。また、高齢化による組織運営の困難さもあり、防犯灯管理組合も将来的に解散のリスクを抱えている。そのため、市による一元管理が必要と考えるので、対応方針を伺う。

企画総務部長 市としては、これ

までの答弁同様、防犯灯管理組合等により地域で管理していただきたいと考える。

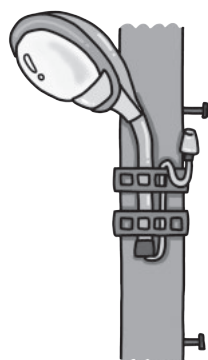
質問 簡易型太陽光防犯灯を道路側に向け、公共の安全に貢献することを想定しての設置に對し各家庭への補助を検討してはいくつか。市がこの補助を積極的に推進することで犯罪抑止効果も期待できる。市の見解を伺う。

企画総務部長 市としては、引き続き明るい街並み推進事業により自治会等を支援し、地域の活性化を図っていききたいので、提案内容については考えていない。

質問 太陽光防犯灯について市道に面し点灯が困難になる場所等を考慮し、優先順位を付け計画的に整備することを検討してはどうか。

企画総務部長 先程と同様に、明るい街並み推進事業を優先に考えている。

要望 地区で管理している防犯灯の市への移管を含め、一元管理の検討を強く要望します。地域の安全確保のため、防犯灯を消さない対応をお願いする。



今川敏宏
議員



高萩トランスフォーメーションTXについて

質問 今後の高萩市の林業をどう考えていくか、もしくはどういった期待があるか、希望があるか、伺います。

市長 高萩は85%が山林原野で占めていますので、これからも適切に整備することが重要であると考えています。森林法に基づき策定した高萩市森林整備計画により、地域の森林、林業の特徴を踏まえた森林整備を進めるとともに、温室効果ガス排出削減目標の達成や災害の防止などを図るため、森林整備等に必要なる財源として国から譲与される森林環境譲与税を活用いたしまして、森林の適性な管理を推進してまいりたいと考えています。しかしながら、森林所有者の大半を占める小規模林家の方々にとしましては、実際の課題として、木材価格は低迷して収益は見込めず、反対に山の手入れなどにかかる費用は年々高騰し、維持していくのも困難であるのが実態であると認識しています。市といったし、林業従事者の確保、育成、災害に強い森づくりなど、

関係団体との連携強化を今後さらに図っていきながら、林業の振興と森林の公益的機能の向上など、持続可能な林業を次代へ引き継いでいきたいと考えています。

闘病支援について

質問 闘病している方への支援策について相談できる体制を伺います。

健康福祉部長 闘病支援については県やその委託先である茨城県看護協会などが相談窓口となり、本市においては、それぞれの窓口が当該機関と連携して対応しているところです。特に市役所1階の社会福祉課へ相談される方が多く、相談内容をよく聞き、その内容に沿った関係各課や関係機関への御案内をしています。





八木陽子
議員



椎名観光バス運休対策について

質問 椎名観光バスの運休に対して高萩市としてどのような対策を考えているのか伺う。

企画総務部長 「MY Rideの「る」を代替路線としている。朝夕の通勤通学時間帯の一部でカバーできない路線がある。これを踏まえ運休区間の通勤、通学時間帯にデマンド型乗合タクシーの導入や他自治体の先進事例を参考に、交通事業者をはじめ関係機関と協議し、様々な方法を検討している。

質問 高萩市の高齢化率は38.9%になり、運転免許証返納者は、毎年のべ130人以上の方が返納している。特に、高齢者の方にとっては、公共交通が必要になってくる。通学、通勤、通院、買物など、住民生活をする上で重要な手段である。市長は、どのような対策を考えているのか。

市長 交通空白地の対策としてデマンド型乗合タクシーの導入や「MY Rideのる」の運行を始めましたが、働き方改革の影響、地域の事情などの違い、また赤字

対策の問題など多くの難題を抱え、高萩市にとって市民の皆さんに安心して生活していただくためにも、地域の人口構成や地形、産業などを踏まえて、最適な公共交通システムを構築していかねればならないと思い、今後も交通事業者をはじめ関東運輸局や茨城県などの関係機関と協議を重ね、これまでと同様に費用対効果も考慮して、現状に即した手法を模索し、より良い公共交通の在り方を検討していきます。



坪和久男
議員



市民レポート機能等の活用について

質問 埼玉県八潮市の県道の陥落事故を受けて、高萩市内の道路の穴開き等の不具合を見つけた場合の迅速な情報提供について、SNSを活用した「LINEによる市民レポート機能」を提案します。

市長 市民の皆様が、道路や公共施設の不具合状況などをLINEを通して報告できる情報伝達手段の一つであると認識しております。しかしながら、LINEの機能の手軽さから、市と関係のない情報が提供されたり、緊急性の低い相談が増加したり運用に支障を来す場合もございます。こうした状況を踏まえ、改めて防災アプリの自治体への連絡機能について市民の皆様にも周知しながら、活用を促進してまいりたいと考えております。



LINE 活用イメージ

公用車の交通事故防止対策等について

質問 令和2年度から直近の交通事故発生件数について伺います。

企画総務部長

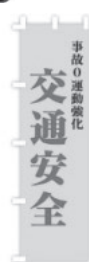
	物損	人身
令和2年度	2	
令和3年度	1	
令和4年度	4	
令和5年度	3	1
令和6年度 2月末迄	5	
合計	15	1

質問 ドライブレコーダーの設置状況について伺います。

企画総務部長 2月末現在で、72台に対し、66台に設置。設置率は91.7%となっております。未設置の6台に対しまして、早期の設置率100%達成を目指していきます。

質問 公用車の交通事故防止対策について市長の考えを伺います。

市長 事故状況のほとんどが、基本的な安全確認さえできていれば防げた事故でなかったかと考えております。具体的な対策としては、安全運転意識の向上を図る研修会を定期的に開催するなど、再発防止に努めてまいります。





藤橋 隼
議員



障がい者の総合相談と基幹相談支援センターの設置に向けた取組について

質問 福祉分野を横断し、複雑な課題に対応する福祉の総合相談員の配置が重要です。市民の声を一元的に受け止める総合相談窓口として、基幹相談支援センターの設置や、広域連携、独自相談員の配置等の代替案も含め、市の見解を伺います。

健康福祉部長 総合相談員の育成の第一歩として窓口への配置を市全体の組織、人員配置も含めて検討します。

市長 障害者が地域で安心して暮らせるよう、支援体制の整備を一層重要視しなければなりません。令和8年度までのセンター設置を目標に、専門職配置や委託を含め早期実現に向け検討します。



公用車の安全運転管理について

質問 全事故が視認不足などの人的要因によるものです。安全運転支援装置の装備拡充、安全運転管理者業務の見直し、安全運転から防衛運転への意識を高め事故防止への体制強化を求めます。

企画総務部長 事故は全て人的要因であり、講習や点検を実施しています。装置導入は費用を考慮して検討します。安全運転管理者の業務については、各課の課長もしくはグループリーダーが業務を代行し様々な車のチェックや日誌の確認等を実施し安全運転指導を実施しています。

市長 市民の生命・財産を守るために職務に当たる職員は、市にとつて大切な財産です。その職員が安心して職務に当たれる環境を整備することは、私の責務と考えています。再発防止に努めます。

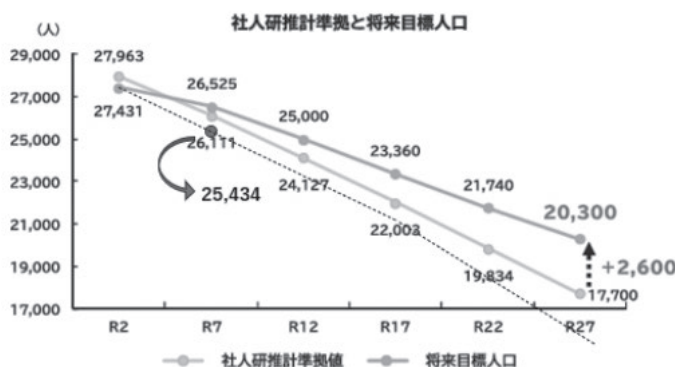


吉川 道隆
議員



人口減少対策について

質問 高萩市の人口は、左図のとおり減少し続けており、現在2万5434人。令和27年には1万5千人くらいになるかもしれない。



1 高萩市の人口推移
第2期高萩市創生総合戦略より

全国の自治体で人口減少の対策として子育て支援の充実を図り、移住定住の促進を試みている。高萩市の子育て支援は、近隣市町村と

比較しても、かなり差があり、今の状況では若い子育て世帯に選ばれない。独自の施策は考えられないのか。

健康福祉部長 子育て支援に取り組んではいるが、本市のみの単独事業はない。

質問 財政が厳しいから難しいと思うが、このままではどんどん差がつけられてしまう。ホームページを見ても日立市や北茨城市は独自の支援を強調してPRしている。他にはない高萩市独自の支援策を検討し、ホームページも見直すべきではないか。

市長 本市では、出産施設の維持・充実のために県北医療センターに補助金を出しており、定住促進や子育て環境の向上に寄与していると思うている。

質問 移住定住促進のため、東京圏在住者等移住支援金を東京圏以外からの移住者にも出すとか、今、新卒者のみ対象としている奨学金返還支援制度を既に就職して返還を開始している方も対象にするなど、支援対象者を拡大したり市外から移住される方の住宅取得に対する補助を充実させてはどうか。

市長 限られた財源の中、それらの支援が他の市町村の人口減少に効果があったかどうか、費用対効果を検証し、国の動向を踏まえ効果的な施策を、検討していかねればならない。

議会改革特別委員会

議会改革特別委員会は、議会改革及び議会活性化を推進するため、議長を除く13名で令和5年12月に設置され、これまで14回にわたり委員会を開催してきました。

主な決定内容は、次のとおりとなります。

- ・本会議、委員会でのプロジェクトの活用
- ・ICT機器を活用した議会運営
- ・本会議招集等の紙通知の省略
- ・会議録印刷の見直し
- ・「議会だより（新年号）」の見直し
- ・本会議への行政委員出席の取りやめ
- ・賛否が分かれた議案について各議員の賛否を「議会だより」に掲載

また、今後は次のような内容についても検討していきます。

- ・通年議会
- ・オンラインによる一般質問の実施
- ・電子採決システムの導入
- ・執行部への反問権の付与

請願・陳情のオンライン化

請願・陳情につきましては、これまで紙媒体での提出が原則でしたが、令和7年4月から請願・陳情のオンラインでの提出が可能となりました。

〈オンライン提出の方法〉

請願

住民等が紹介議員へ請願を渡し、紹介議員から議会へ電子メール等で提出。

陳情

- ①事前にメールアドレス等（住所・氏名・電話番号）を議会へ通知。
 - ②通知済のメールアドレスにより文書を議会へ送付。
 - ③本人確認のため、送付済みの電話番号より電話してください。
- ※オンライン提出の陳情につきましては、郵便の場合と同様に審議の対象にはなりません。



請願・陳情の審議結果

事件番号	件名	結果
陳情第1号	令和6年9月に高議第70号で陳情採択の議決通知を受けたが執行機関から連絡がないため、その理由と今後の話し合い等のスケジュールについて回答を求める陳情	採択

議会日誌

2月	7日 議会運営委員会
13日	議会全員協議会
14日	茨城県市議会議長会
18日	第2回議員研修会
18日	議会運営委員会
19日	議会全員協議会
25日	日立・高萩広域下水道組合議会定例会
28日	第1回定例会
3月	18日 議会広報委員会
26日	高萩・北茨城広域事務組合議会定例会
4月	3日 茨城県北市議会議長会定例会
11日	議会広報委員会
14日	茨城県市議会議長会定例会
18日	議会広報委員会

声の広報

（議会だよりの音声版）

音声版



ボランティアグループ「高萩読みかきセグループ」が音訳した『議会だより』を、市ホームページから聞くことができます。

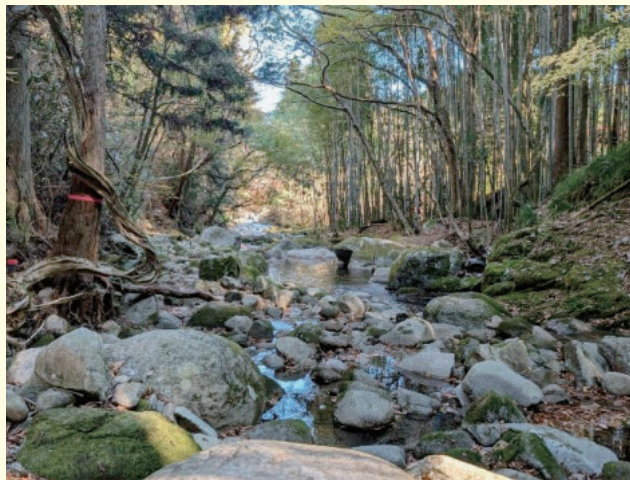
市民の声

高萩市在住 Kさん

私は大学進学をきっかけに、高萩市を離れ県外で暮らしていました。都会の暮らしは便利ではありましたが、どこか心が落ち着かず、高萩で過ごした日々のぬくもりが常に心の中にありました。

そんな思いを胸に、数年後、自然豊かで人の温かい高萩に戻ることを決めました。改めてこの地の美しさに触れると、四季折々の風景、澄んだ空気、そして地域の方々の優しさに、「やっぱり帰ってきてよかった」と実感しています。

現在、私は自然に関わる仕事をしています。高萩の山や川、海といったかけがえのない自然環境を守ることが、自分の使命であり、未来の子どもたちへの責任だと感じています。同時に、この自然を地域資源として生かすことで、高萩に新たな魅力や価値を生み出せるとも信じています。



令和7年第2回定例会（6月）予定

- 6日(金) 本会議 議案上程
- 9日(月) 本会議 一般質問
- 10日(火) 本会議 一般質問
- 12日(木) 本会議 議案質疑
- 13日(金) 文教厚生委員会
- 16日(月) 総務産業委員会
- 17日(火) 議会改革特別委員会
- 19日(木) 本会議 採決

※開会中においても日程等が変更になることがあります。

インターネットの放送予定



	インターネット
本会議	市ホームページ (携帯・タブレット可)
総務産業委員会 文教厚生委員会	YouTube
議会改革特別委員会	YouTube

市のホームページは「高萩市議会」からお入りください。
 委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのYouTubeを利用しています。使用環境によっては、視聴できない場合があります。
 ※過去の録画映像もご覧いただけます。

用語解説

議会において使われた用語（※印）について、解説します。

※1 アセットマネジメント

学校や公民館、道路などの公共施設を将来も安全に使い続けるために、計画的に管理・活用する取り組みです。

人口減少や施設の老朽化に対応し、施設の集約や使い方の見直しを行い、必要なサービスを持続的に提供できるようにします。

※2 アントレプレナーシップ

様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神です。

※3 有機フッ素化合物（PFAS）

水や油をはじく性質があり、フライパンのコーティング、防水加工などに使われてきた人工の化学物質です。しかし、一部のPFASは分解されにくく、長い間、環境や人の体内に残ることが分かってきました。健康への影響が懸念されており、最近では水道水などからの検出が問題になっていきます。現在、国や自治体で調査や規制が進められています。